

ウイルス性肝疾患に対する新規治療法に関する検討について

< 背景 >

8月26日に開催された中央社会保険医療協議会においてレジパスビル／ソホスブビル配合錠(ハーボニー®配合錠)について審議され、8月31日に薬価収載されることとなった。これにより、セログループ1(ジェノタイプ1)のC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変に対するレジパスビル／ソホスブビル配合錠が保険適用となるため、肝炎治療特別促進事業においてどのように取扱うべきか、対応方針を検討する必要がある。

現在、本事業では、インターフェロンフリー治療に対する助成は1回のみとしているが、セログループ1(ジェノタイプ1)に対する2つ目のインターフェロンフリー治療の登場により、インターフェロンフリー治療不成功後のインターフェロンフリー治療に対する取扱いについても併せて検討する必要がある。

< 検討事項 >

- (1) レジパスビル／ソホスブビル配合錠について医療費助成の対象とすべきか。
- (2) 対象とする場合、必要な条件を検討。
 - ・ 対象患者について
 - ・ 診断書作成について
 - ・ 治療回数について
 - ・ 治療期間延長に係る取扱いについて
- (3) インターフェロンフリー治療不成功後のインターフェロンフリー治療について医療費助成の対象とすべきか。

等